

金属研磨装置

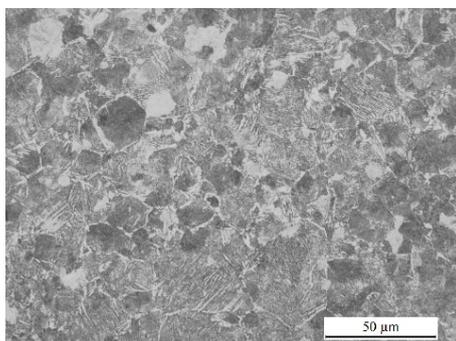
■機器の概要

金属研磨装置は回転する研磨円板に試料を押し当てることで、主に金属材料の観察面を研磨・琢磨することが可能な装置です。自動研磨及び手動研磨が可能です。

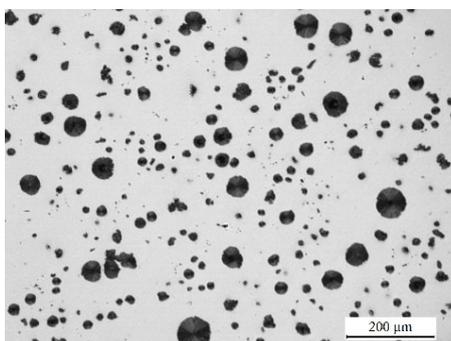
■活用事例

活用例：金属組織観察試料の作製

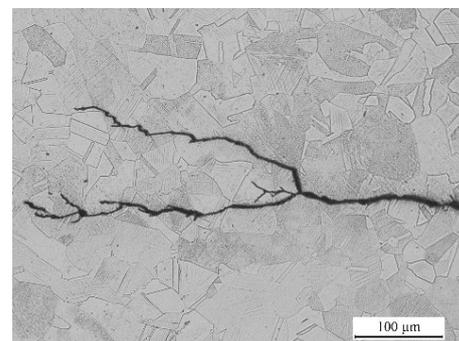
本装置を用いて、金属材料の観察面を研磨した後、必要に応じて化学エッチングや電解エッチングを行い金属組織を現出させ、光学顕微鏡により組織観察を行いました。



a) S50C調質材
エッチング：3%ナイトル



b) 球状黒鉛鋳鉄
エッチング：無し



c) オーステナイト系ステンレス
※材料中のクラックを観察
エッチング：10%シュウ酸（電解）

図1 金属組織観察像

■仕様・留意事項

金属研磨装置

(株)ストルアス ラボポール30、ラボフォース100、ラボドージャー100)

- 全体荷重制御及び個別荷重制御による自動研磨可能

自動研磨可能なサンプル：Φ25mm、Φ35mmの樹脂包埋試料

自動研磨可能なサンプル数：6個（個別荷重制御時は1個から可能）

加圧力：10～50N（個別荷重制御）

30～300N（全体荷重制御）

- ダイヤモンド研磨剤及び潤滑剤の自動供給可能
- 研磨円板径：Φ250mm
- 研磨円板回転速度：50～500rpm



図2 装置外観